



**2021年度上期
(2022年3月期 第2四半期)
決算補足説明資料**

東亜ディーケーケー株式会社

2021年10月

■売上高：増収

(国内) 官公需は例年並み。民需は回復傾向で受注は高水準も売上は微減
(海外) 主に中国・韓国・台湾での販売が好調で増収

■利益：原価率上昇も、増収・販管費減少により増益

👉 単月黒字化 **145か月** 連続記録更新中 (2009年9月から12年1か月)

(単位:百万円)

	2020年度 上期実績	2021年度 上期実績	前年同期比増減	
			金額	率
売上高	7,085	7,434	349	+4.9%
営業利益 売上高比	619 8.7%	640 8.6%	20	+3.4%
経常利益 売上高比	646 9.1%	673 9.1%	27	+4.2%
親会社株主に帰属する 当期純利益 売上高比	438 6.2%	465 6.3%	27	+6.4%

計測機器事業（増収・増益）

売上高7,305百万円（5.0%増）、セグメント利益936百万円（4.7%増）

- 国内売上高：全体として減収
 - ①環境・プロセス分析機器：官公庁向けは例年並み。民間企業向けは需要の回復傾向により受注は高水準で推移するも売上計上に至らずやや減収。
 - ②科学分析機器：ラボ用分析機器・ポータブル分析計の売上は微減も、受注は増加継続。医療関連機器は売上増で、受注はさらに大きく伸長。
 - ③電極・標準液、保守・修理及び部品・その他：保守点検がほぼ計画通り行われ増収
- 海外売上高：中国の第14次5か年計画における環境用水質分析計需要の高まりを捉え販売が大きく伸長したほか、韓国での水道事業入札案件の獲得や、半導体関連設備投資の活発な台湾での販売も好調で大幅増収
- 利益：原価率上昇も、増収・販管費減少により増益

不動産賃貸事業（減収・減益）

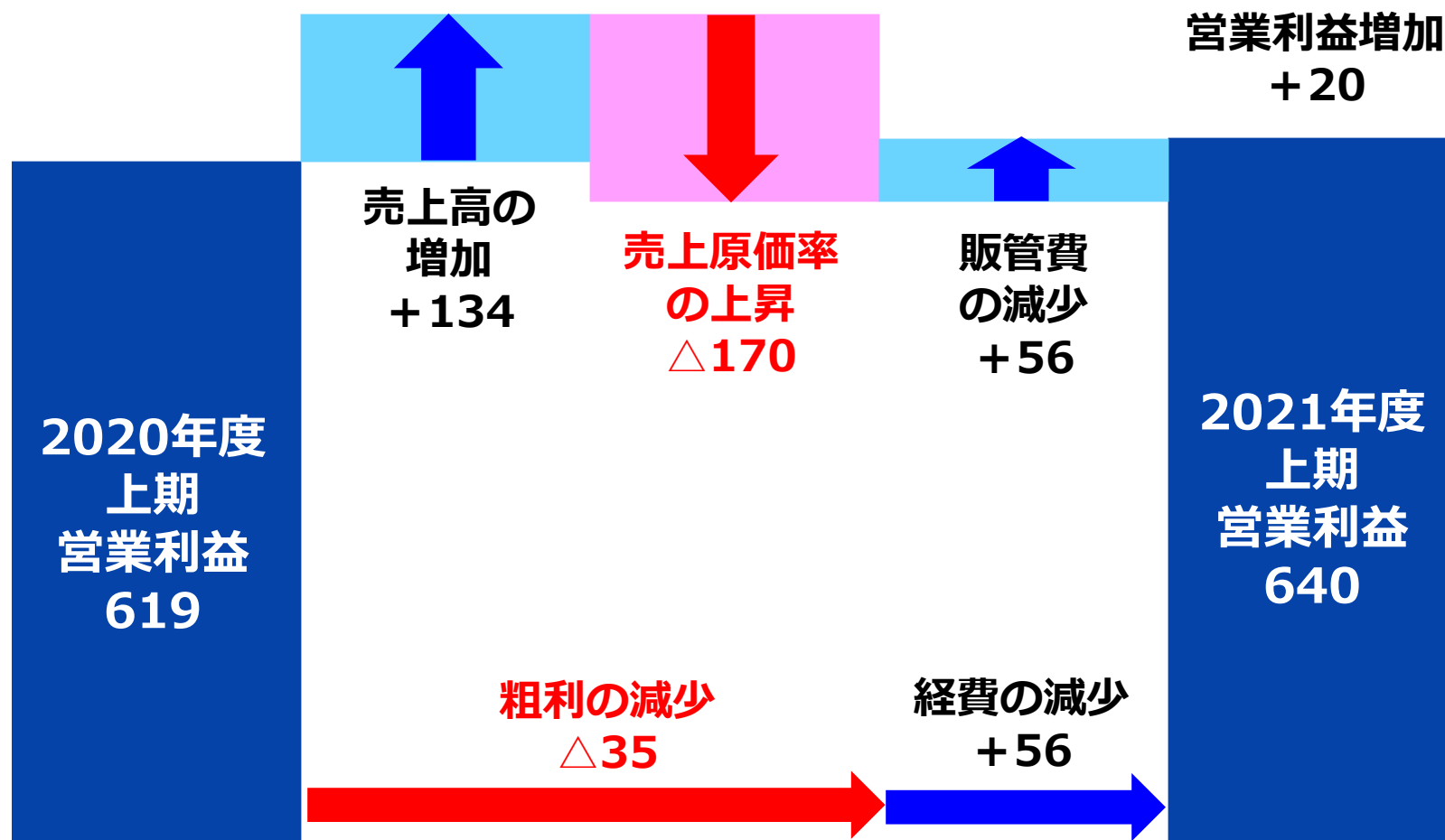
売上高128百万円（0.5%減）、セグメント利益81百万円（0.5%減）

- 主な賃貸物件は、本社に隣接しているビル1棟と駐車場

営業利益の増減分析

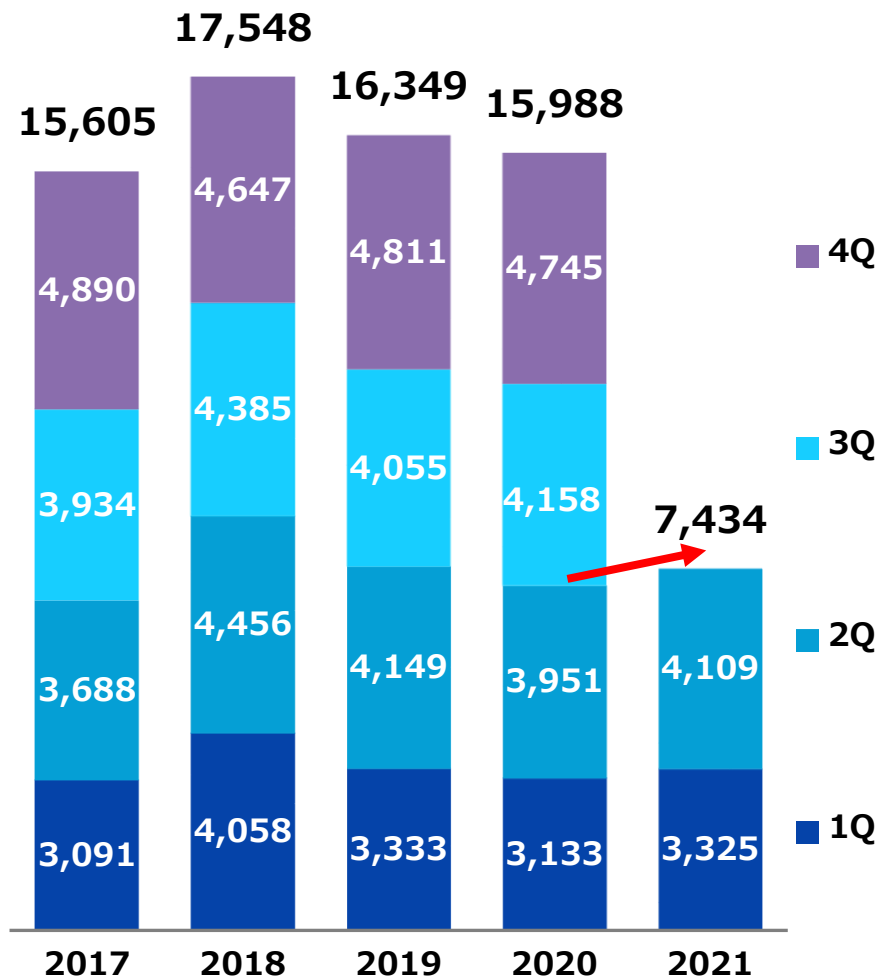


(単位:百万円)

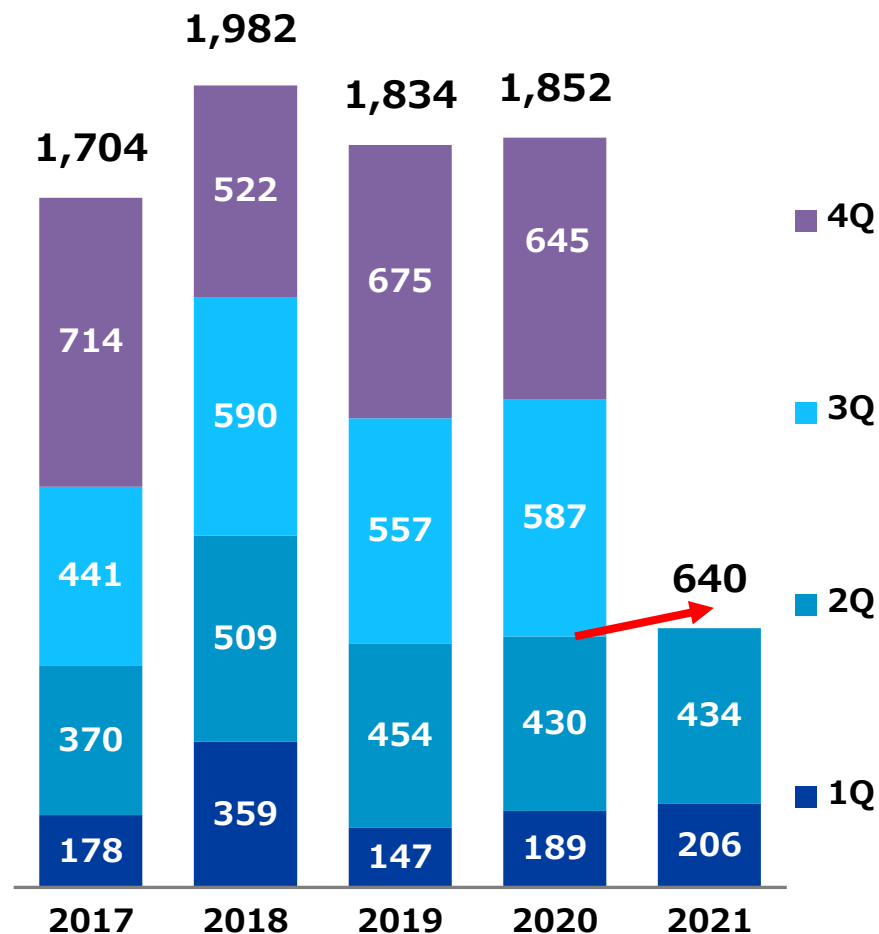


(単位:百万円)

売上高

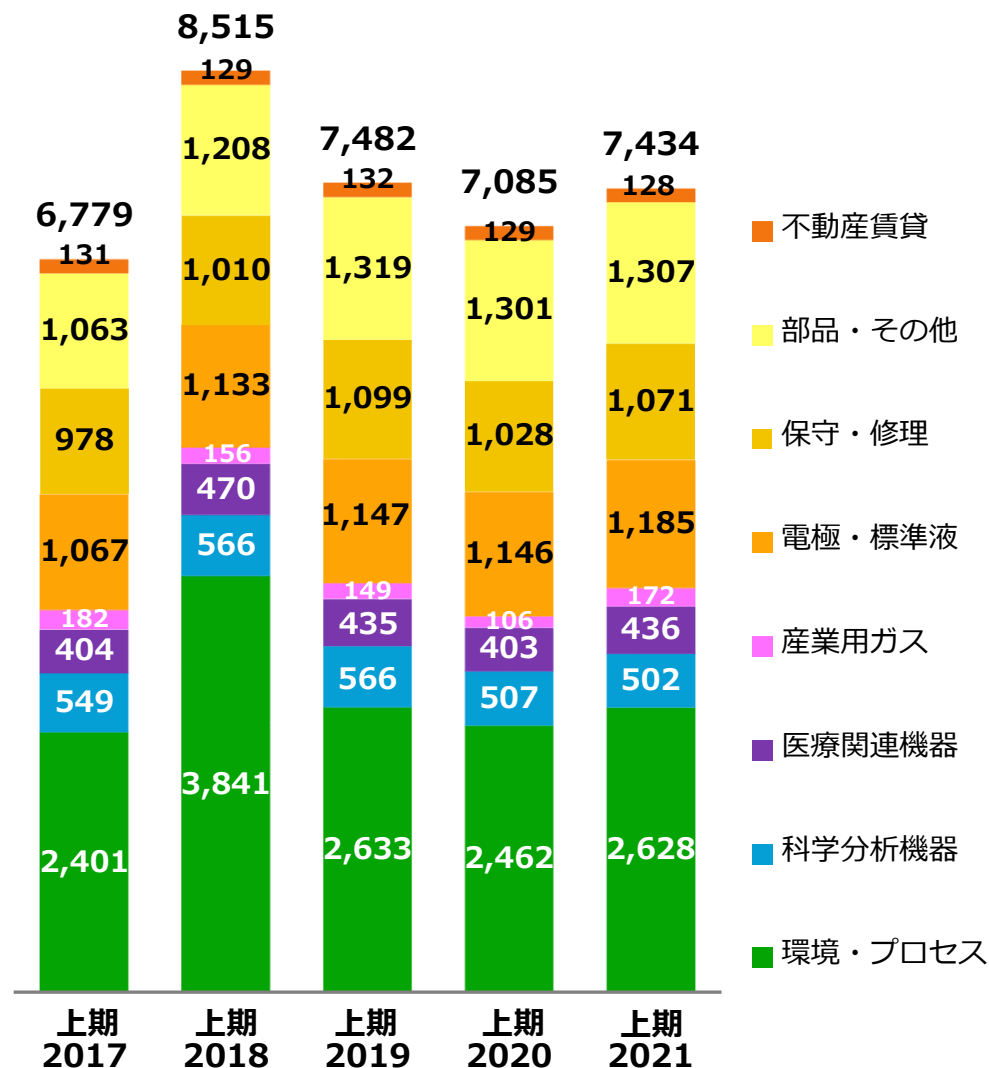
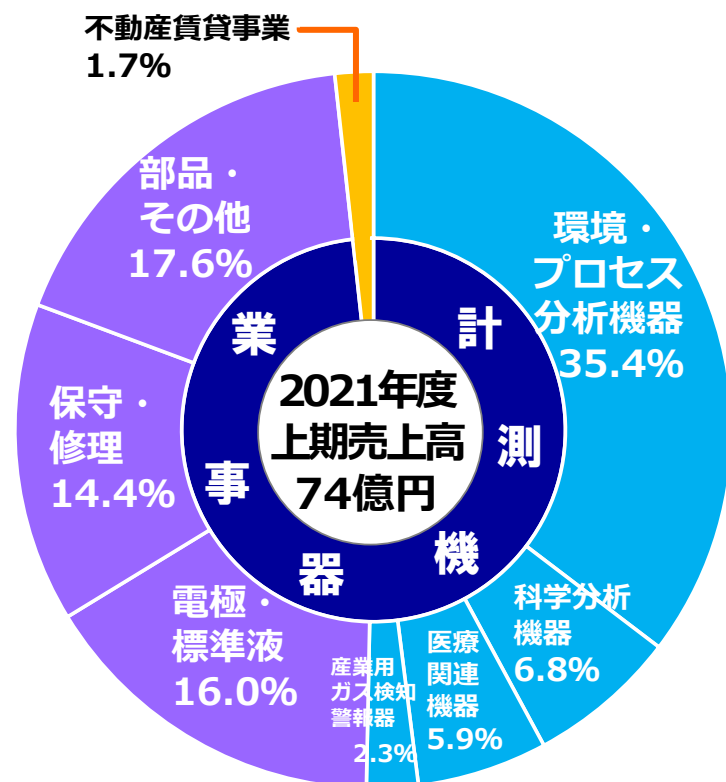


営業利益



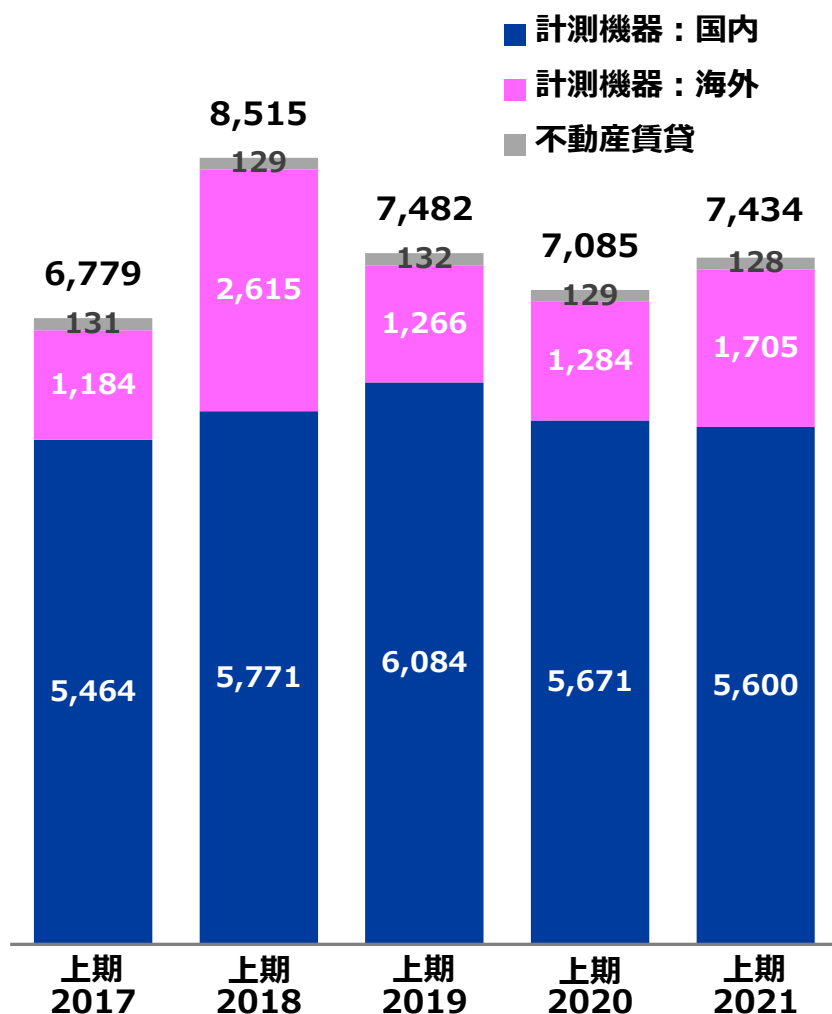
分野別構成比と売上高推移

(単位:百万円)

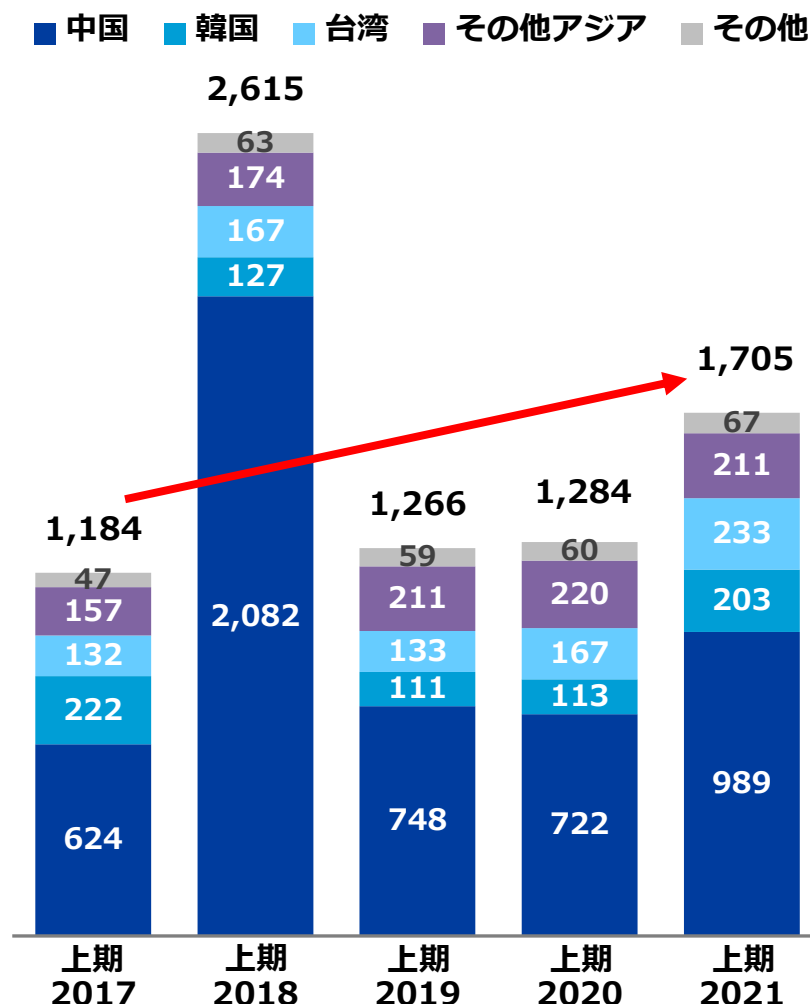


(単位:百万円)

国内外の売上高



海外の国別売上高



- 本資料は当社をご理解いただくために作成したものであり、当社への投資勧誘を目的としたものではありません。
- 本資料における将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。
- 本説明資料中の記載金額は、表示単位未満を切り捨てて表示しております。
また、諸比率は円単位で算出の上、小数点第2位を四捨五入しております。そのため合計値が100.0%とならない場合があります。
- 将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上でご利用ください。
- 業績等に関する記述につきましても、信頼できると思われる各種データに基づいて作成しておりますが、当社はその正確性、安全性を保証するものではありません。
- 本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、皆様ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任は負いません。

＜お問い合わせ＞

東亜ディーケーケー株式会社
経営戦略部 経営企画課

メール：ir@toadkk.co.jp

URL：https://www.toadkk.co.jp/